

感染症対策

* 3つの基本対策の徹底

1. 身体的距離の確保	2. マスクの着用	3. 手洗い
-------------	-----------	--------

(1) 健康管理

- ・本人・家族が2週間前より「修学旅行健康観察票」への取り組み健康管理をする
- ・体調が悪い場合は参加しない

(2) 保険

- ・現地で感染の疑いおよび感染した場合は、家族または同居人以外（家庭内感染の疑いがある場合を考慮し事前確認いたします）に引き取りをお願いする

その際生じる交通費・滞在費に対応する保険に加入する（約 350 円）

※発熱の時点ですぐに引き取り迎えをお願いする場合がある

(3) 引率者増員

- ・引率教師以外に宿泊介助員を1名増員

(4) 体温測定

- ・各学級担任は非接触型体温計を常備し、定期的な体温チェックを行う

(5) 手指消毒

手洗いの補助として、1人1本消毒用ジェルを用意

(6) 小田原駅までの移動（往復）

- ・貸切バスを使い、集合場所、車内、乗り換え移動時の感染リスクを減らす

(7) 新幹線車内

- ・車内換気（約6～8分で室内の空気を完全入れ替え可）
- ・シートは対面にしない
- ・小田原－広島間往復すべての車両で14号車～16号車(最後尾)3両を使用するため、一般乗客が生徒車両に入ることはない
- ・車内の移動なし、大きな声での会話なし、お菓子なし
- ・1日目の昼食は家庭より持参したお弁当

(8) バス移動

- ・乗車、降車時に手指消毒
- ・常時換気、天候により窓を常時開けられないときは30分に1回（5分程度）の換気
- ・車内換気（約5～6分で室内の空気を完全入れ替え可）

(9) 宿泊場所

- ・部屋内はソーシャルディスタンスを確保する
- ・入室前は必ず手洗いまたは手指消毒
- ・入浴は大浴場と部屋風呂を併用し密を避ける
- ・食事は個別配膳、会話はしない
- ・係会議等は分散し、必要最小限の人数・時間で行う

(10) 班別行動

- ・半日の行程のため活動時間が短く、外国人を含め観光客は極めて少ない状況（旅行会社情報）
- ・徒歩での移動を増やし、公共交通機関の利用回数を制限する

- ・体験活動は実施しない
- ・土産購入場所を限定し、できるだけ班別行動の中で済ませる（もみじ饅頭・八つ橋は事前予約購入可）
- ・班ごとに連絡用端末機を配置する（GPS 機能付き）

(11)その他（全般的）

- ・宿泊施設および食事施設の従業員に対し、ガイドラインに沿った感染症対策（定期的な検温、健康管理、体調の悪い場合は従事しないこと等）の指導徹底を業者に要請